

おめでとうございます



11月3日付けで、西山庄司さんが瑞宝双光章、中山利彦さん、山本一紀さん、井上聰さん、出口鉄男さん、藤本正己さんが瑞宝単光章を受章されました。

瑞宝双光章 受章

にしやま しょうじ
西山 庄司さん (78歳、魚町)

西山さんは、昭和35年から平成8年までの約35年の永きにわたり、主に田川市立小学校に勤務され、地域教育の発展に貢献された功績が認められました。

中でも、平成6年4月に後藤寺小学校校長として赴任した際は、福岡県内で初めてとなる、複数の教諭が役割を分担し、協力し合いながら授業を行うティーミング授業を実施。子どもの学力および教諭の質を高め、本市の教育の向上に全力を傾注されました。

西山さんは「受章をひとつの契機として、生涯教育研究を続けていきたいです」と話しました。

瑞宝単光章 受章

なかやま としひこ
中山 利彦さん (74歳、奈良)

中山さんは、昭和58年に後藤寺西団地の民生委員・児童委員に就任し、以来30年の永きにわたり、地域福祉の向上に寄与された功績が認められました。

中でも、平成12年から本市民生委員・児童委員協議会理事、平成13年からは同協議会副会長を歴任、理事会の改革、行政との協力関係に尽力され、市全体の民生委員・児童委員活動の向上に寄与されました。

中山さんは「今回の受章はひとりの力ではなく、多くの友人や地域のみなさんの理解や協力、そして家族の支えのおかげです」と話しました。

瑞宝単光章 受章

やまもと かずのり
山本 一紀さん (74歳、夏吉)

山本さんは、昭和58年に東町の民生委員・児童委員に就任し、以来30年の永きにわたり、地域福祉の向上に寄与された功績が認められました。

中でも、平成17年から本市民生委員・児童委員協議会理事、平成22年からは同協議会副会長を歴任、民生委員・児童委員を対象とした研修会などを率先して実施されるなど、市全体の民生委員・児童委員活動の資質向上に尽力されました。

山本さんは「受章はとてもうれしい。これからも田川地域のために頑張っていきたいです」と話しました。

瑞宝単光章 受章

いのうえ さとし
井上 聰さん (71歳、位登)

井上さんは、昭和38年から平成13年に退職されるまでの約38年の永きにわたり、警察官として公共の安全と秩序の維持に尽力し、特に警備部門において活躍され、その功績が認められました。

中でも、昭和43年にアメリカの原子力空母エンタープライズ号が佐世保港に入港した際の警備や、九州大学でのアメリカ空軍ファントム戦闘機墜落事故の封鎖解除警備などが印象に残っているそうです。

井上さんは「大きなミスや事故もなく、職務を全うした結果です」と話しました。

瑞宝単光章 受章

でぐち てつお
出口 鉄男さん (67歳、南白鳥町)

出口さんは、昭和42年から平成13年に准陸尉として退官されるまでの約34年の永きにわたり、陸上自衛隊自衛官として国民の生命、財産を守る業務に尽力された功績が認められました。

中でも、平成3年の長崎県雲仙普賢岳火砕流災害時には現地に赴き、主に指揮所活動に従事され、災害からの復興に全力を傾注されました。

出口さんは「受章はとてもうれしく感じています。家族や周囲のみなさんに支えられたのおかげです」と話しました。

瑞宝単光章 受章

ふじもと まさみ
藤本 正己さん (65歳、夏吉)

藤本さんは、昭和50年から平成22年までの約34年の永きにわたり、市消防団団員として卓越した識見と抜群の実践力を持って、消防の発展と郷土防災のために全力を傾注された功績が認められました。

中でも、平成9年8月に発生した川宮地区での工場火災の際には、いち早く火災現場に到着し、冷静沈着に消火活動を行い、被害を最小限に止められました。

藤本さんは「この受章は、家族や周囲のみなさんの支えがあってこそ。消防団団員の仲間たちを代表していただいたと思っています」と話しました。